

9087P396

ā (98Y 6 99980) 99980000000

• 98Y

98Y (3 2 1 2 1 2)

8"

90 B300

/ 500ae

9988

2003 ē

2002 888

OoP

P-2550C

554 ā

9900P8

(1) 8

9 29ā (ā) 8•

9883P0

(2) O oP

98 2 - 28 ā (i) 0

9888P0

(3) ' 8

98 3 - 27 ā (i) 0

9888880

B9 IOCV 8880

ó /CE 8

8

3 88

/

.00

988

8

888

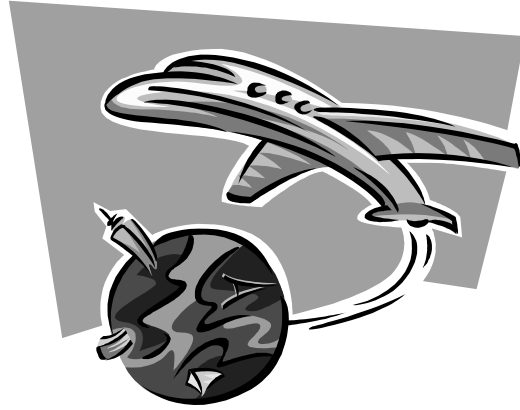
988

8 (8

2 - 15 8

3 8) 8

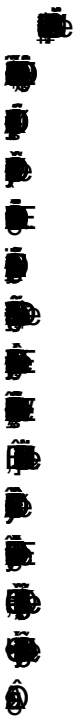
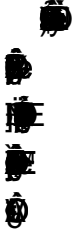




§

¶

①



OBOLIVION-

8

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

OBOLIVION-

10
11
12

13
14
15

16 5
17 & T 5 5 ð
18 - , î 0
19 ì I i / i
20 - q * ã ±

21
22
23
24
25

26
27
28
29

30







0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

0550

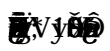
0550

0550

0550

0550

0550



OHSA

<http://geobiz.com/jpclub/>





☞

☞

5M

992941

☞

%

5A

☞

9%0

☞

☞

☞

4☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

14☞

☞

☞

☞

14☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

d ☞

☞

☞

☞

☞

☞

☞

14☞

☞

☞

☞

☞

☞

14☞

☞

☞

1s4☞





早いもので結婚 10 年目となりました。

実感は全くありませんが、6 才と 3 才の子供がいるわけであつという間にこの 10 年目を迎えたという感じがします。

「国際結婚」というテーマですが、二人の間では相手が外国人だという見方では普段見ていないと思います。日本人同士だったとしても起こり得ることが日々起こっているわけで、日本人同士だったと言わなくてもいいようなところまで突っ込んで言っているのは確かだと思いますが、だからこそ「腹を割って」(?)溜め込まなくてすんでいるのではないかと思います。

とりあえず経緯ということで、一出会いは 1989 年の 11 月だったか、天安門事件数ヶ月後の中国上海。私は日中友好協会の募集に応募して 10 ヶ月間の予定で語学留学していました。第一希望の地は上海ではなく山東省済南市だったのですが、試験の結果第二希望の上海に決まったのです。主人の方も 1987 年から中国に留学していて、学校は違ったのですがひよんなことから出会ってしまったのです。

それから結婚するまでは、他の皆さんと同じようにいろいろありましたが、書いてしまうとだらだらと訳がわからなくなりそうなので省略させていただきます…。

そしていよいよ、一結婚というのが二人だけの問題ですむのならいいのかもしれませんが、「周り」のあることなのでそれが大変です。

まず、結婚式はブルガリアでしましたが私はもともと結婚式などするつもりはありませんでした。しかし、こちらの両親としてはちゃんとトラディショナルな式をさせるのが当然のようであったのでいわれるがままされるがまま。当時は全く言葉も習慣もわからないので、指輪はこれよ、グラスがいるのよ、招待状のカード選びにいたるまでまかせっきりでした。(主に主人の兄の嫁と母親に)ウェディングドレスはたくさんある中から気に入ったものを選ぶ…のではなく、まずサイズが合うものが 3 つしかなく、その中から適当に選びそれでも大きいのでお義姉さんに直してもらい、靴もサイズがなく式の前にたまたまハンガリーに旅行を予定していたのでそこで買ったり。式は主人の家族・親戚・友人と盛大でしたが、私の方は親が来るわけでもなく(式の日取りは急に決まり、招待状も 10 日前くらいに作成)私は式の間中何を言われてもわからないのでとりあえずニコニコ。今となっては多少言葉がわからない方が腹も立たずにすむこともあるだろうにと思います…。

最初のうちは両親に「そのじゃがいもはどこで買ったの?いくらだった?」「ヤニク(主人)は仕事から帰ってきたか?」「夕べは何を食べたのか?」と毎日のように聞かれていました。今でもよく聞かれますが…。そんなに気になるかー、どこの家でもこうなんだろうかー、と思いますがそれも直接ダンナに言う、そしてうっぷんを晴らすー。ダンナもかなわんと思いますが、私も溜め込んでたらやっつけていけないと思うので。

とはいえ子供たちの面倒はよく見てくれるし、こんな人たちもなかなかいないかなーと思っています。子供たちがまだベビーカーに乗っているような小さい時には、毎日のようにせつせと散歩に連れてっててくれていました。その間私は掃除をしたり、買い物に行ったりが身軽にできてそれははず

いぶん助かったと思っています。夜、友人と食事に出かける時にも泊りがけで子供たちを預かってくれます。でも…、口も出されず。言葉が完璧ではないので、遠まわしにオブラートに包んだように物が言えないのですが(私自身の性格の問題でもあります)、両親にも言いたいことは言って、さらに主人にも聞いてもらう。そうやってここまでできました。いい嫁だとは決して思われていないだろうけれど、異国から来た嫁だということでも半分あきらめ、随分多目に見てもらっていると思います。



子供たちは今、現地のごく普通の幼稚園に通っています。ブルガリア人の子供たちと一緒に仲良くやっている様子です。長男は昨年日本に一時帰国した際には、日本の幼稚園に約一ヶ月間通わせましたが、そこでは10月ということもあり運動会、芋掘り、体操大会など多くの行事があったのですが、こちらが心配しているのをよそにすっかり溶けこんでいました。半分ブルガリア人、半分日本人なので環境に応じて(?)上手くやって行ってくれば良いなと思っていますが、日本語をどう忘れずにいてくれるか…、ちょっと心配で、あんまり自信もありません…。日本語の本や新聞を読むようになるのは難しいだろうな—と思っていますが、日本に行った時、おばあちゃん(私の母)達と普通に会話ができ、ひらがなの読み書きくらいは…。これは私自身の努力次第ということになるのでしょうか。

この先まだまだ長いと思いますが、最近ようやく他の日本人の方々が言われるように「ブルガリアの野菜・果物はおいしい」というのを納得し、わかってきたような気がしますし、夏の長い休暇(何もせずボーッと海辺に座っている)も慣れてきました。ブルガリアでの結婚生活も軌道にのってきた(落ち着いてきた)というところでしょうか。

98000



9>h³
 OZ n # 90000 h
 10 90000
 99900
 h\ n 0H0
 i
 1j000

M
 8/E E E M n -fe 0
 A 4/3 0 0 0 4/Ç
 E 0 H u0 a E 0
 0 0 E E be 7CE h³ a
 8/2 0 Ç (4E 0 0 0
 6)P 0 o :E & :E &
 0 D 0 0
 1j000

98

98000

